

3 ③ 次の二つの文章を読んで、設問に答えなさい。

音楽に国境がない、と言われるのはそれぞれの言語による制限がなく内容がわかり合えることにほかならない。言い換えれば「音楽は言語によらない意思伝達手段のひとつである」。音楽は意思伝達——コミュニケーション、それも非言語的意図伝達——ノンバーバル・コミュニケーションなのである。

ベートーヴェンの作品が何の解説がなくともその内容、感じが誰にでもわかる、あるいは伝達される——だから彼の生国にかかわらず「エリーゼのために」は世界中に愛される。

(服部公一『子どもの声が低くなる！——現代ニッポン音楽事情』)

文化とは、“文化人”という言葉に代表されるような文化だけではなく、過去から伝統として引き継がれて来た生活様式・思考様式・行動様式の総体そのものにほかならない。それは、換言すると、人間の物理的環境と精神的環境を形づくり、我々の行動や反応の仕方を規定していくものなのである。そしてすべての人間は、無意識のうちに、所与の言語と非言語による行動を媒介として、個人の内部に特定な認知反応やコミュニケーションの仕方を形成していくわけだが、これこそが、社会化、あるいは文化化と呼ばれるプロセスなのである。つまりこの社会（文化）化によって、人は例外なく、自分の所属する集団が共有する物の見方や感じ方などを身につけていく。このため文化が違えば、認識の仕方や考え方も違って来るのである。

(鍋倉健悦『異文化間コミュニケーション入門』)

問 あなた自身は「音楽には国境がない」と思いますか。「異なる文化の音楽と接する時」という題で、具体的に例をあげながら自分の考えを述べなさい。(800字～1200字)